



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日  
上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社  
コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>  
代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 小谷 進  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 川尻 邦夫 (TEL) 03-6634-8777  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	190,397	△14.5	1,516	△27.0	2,828	101.3	966	—
28年3月期第2四半期	222,595	△5.7	2,078	△38.3	1,405	—	△1,994	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △9,277百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △3,969百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	2.63	2.39
28年3月期第2四半期	△5.43	—

(注) 平成28年3月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	279,427	81,209	27.6	210.11
28年3月期第2四半期	298,012	90,486	28.7	233.32

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 77,152百万円 28年3月期 85,675百万円

(注) 自己資本は、純資産から非支配株主持分を控除したものを記載しています。1株当たり純資産は、自己資本を期末発行済株式数(自己株式控除後)で除して算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△11.0	8,000	9.5	7,000	△3.4	1,000	36.8	2.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想値は、平成29年3月期第2四半期累計期間における期中平均株式数を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	372,223,436株	28年3月期	372,223,436株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,030,336株	28年3月期	5,029,993株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	367,193,242株	28年3月期2Q	367,194,391株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づき四半期報告書に記載される四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、添付資料の4ページをご参照下さい。

## 目 次

<b>1. 四半期決算に関する定性的情報</b> .....	P. 2
(1) 連結経営成績 .....	P. 2
(2) 連結財政状態 .....	P. 3
(3) 連結業績予想 .....	P. 4
<b>2. 四半期連結財務諸表</b> .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 11
<b>3. 四半期連結財務諸表に関する注記事項</b> .....	P. 12
(1) 会計方針の変更 .....	P. 12
(2) 追加情報 .....	P. 12
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 12
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 12
(5) セグメント情報等 .....	P. 13

---

問合せ先：経営戦略部 IR・広報部

電 話 (03) 6634-8777

ファクシミリ (03) 6634-8745

Eメール [pioneer\\_ir@post.pioneer.co.jp](mailto:pioneer_ir@post.pioneer.co.jp)

U R L <http://pioneer.jp/ir/>

## 1. 四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	第 2 四 半 期			第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間		
	平成29年3月期 (平成28年7月～ 平成28年9月)	平成28年3月期 (平成27年7月～ 平成27年9月)	増減率	平成29年3月期 (平成28年4月～ 平成28年9月)	平成28年3月期 (平成27年4月～ 平成27年9月)	増減率
売 上 高	95,068	113,575	△16.3%	190,397	222,595	△14.5%
営 業 利 益	1,140	2,009	△43.3%	1,516	2,078	△27.0%
経 常 利 益	805	1,997	△59.7%	2,828	1,405	101.3%
親会社株主に帰属する 当期純損益	△305	520	—	966	△1,994	—

平成29年3月期第2四半期（平成28年7月1日～平成28年9月30日）における連結売上高は、主に円高の影響により、前年同期に比べ16.3%減収の95,068百万円となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が為替の影響等により減少したことや、原価率の良化はありましたが、売上高が減少したことにより、前年同期に比べ43.3%減益の1,140百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損益は、主に営業利益の減少により、前年同期の520百万円の利益から305百万円の損失となりました。

当四半期の平均為替レートは、前年同期に比べ、対米ドルは19.3%円高の1米ドル＝102円43銭、対ユーロは19.0%円高の1ユーロ＝114円28銭となりました。

カーエレクトロニクスの売上は、円高の影響等により前年同期に比べ12.8%減収の78,338百万円となりました。

市販事業は減収となりました。カーオーディオは、北米を中心に海外で減少したことから減収となりました。カーナビゲーションシステムは、前年同期並みとなりました。

OEM事業は減収となりました。カーオーディオは、国内で増加しましたが、主に北米で減少したことから減収となりました。カーナビゲーションシステムは、国内で増加しましたが、中国や東南アジアで減少したことなどから減収となりました。

なお、カーエレクトロニクス全体の売上高に占めるOEM事業の売上構成比は、前年同期並みの59%となりました。

国内外別の売上については、国内は2.6%増収の33,040百万円、海外は21.4%減収の45,298百万円となりました。

営業利益は、為替の影響等による、販売費及び一般管理費の減少や原価率の良化はありましたが、売上が減少したことにより、前年同期に比べ17.3%減益の1,731百万円となりました。

その他の売上は、光ディスクドライブ関連製品やFA機器の減少に加え、円高の影響等により、前年同期に比べ29.5%減収の16,730百万円となりました。

国内外別の売上については、国内は29.0%減収の8,787百万円、海外は30.0%減収の7,943百万円となりました。

営業損益は、主に売上の減少により、前年同期の661百万円の利益から578百万円の損失となりました。

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）における連結売上高は、主に円高の影響により、前年同期に比べ14.5%減収の190,397百万円となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が為替の影響等により減少したことや、原価率の良化はありましたが、売上高が減少したことにより、前年同期に比べ27.0%減益の1,516百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損益は、営業利益は減少しましたが、為替差益が1,421百万円増加の1,790百万円となったことなどにより、前年同期の1,994百万円の損失から966百万円の利益となりました。

当第2四半期連結累計期間における平均為替レートは、対米ドルは15.7%円高の1米ドル＝105円29銭、対ユーロは14.3%円高の1ユーロ＝118円15銭となりました。

(注) 1. 各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前年同期の数値についても、変更後の区分方法に基づいて組替表示しています。

## (2) 連結財政状態

当第2四半期末の総資産については、受取手形及び売掛金や現金及び預金が減少したことなどにより、前期末に比べ18,585百万円減少し、279,427百万円となりました。受取手形及び売掛金は、当第2四半期の売上高が前期の第4四半期に比べて減少したことや、円高の影響等により11,172百万円減少し、63,424百万円となりました。現金及び預金は6,718百万円減少し、45,275百万円となりました。

負債については、円高の影響等により支払手形及び買掛金が5,102百万円、未払費用が1,704百万円、退職給付に係る負債が1,390百万円、それぞれ減少したことなどから、前期末に比べ9,308百万円減少し、198,218百万円となりました。

純資産については、退職給付に係る調整累計額の1,859百万円の増加や、当第2四半期連結累計期間に親会社株主に帰属する当期純利益の966百万円の計上はありましたが、当第2四半期末の米ドルの為替レートが前期末に比べて円高となったことなどに伴い為替換算調整勘定が10,864百万円減少したことなどにより、前期末に比べ9,277百万円減少し、81,209百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の3,386百万円の支出から11,029百万円の収入となりました。これは、前期の第1四半期に特別退職金の支払いがあったことなどにより未払費用の減少額が9,521百万円縮小したことや、売上債権が前年同期の663百万円の増加から6,325百万円の減少に転じたことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が10,707百万円増加し、18,844百万円の支出となりました。これは主に固定資産の取得による支出が7,918百万円増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の前年同期の減少から増加に転じたことなどにより、前年同期の5,635百万円の支出から3,290百万円の収入となりました。

また、外貨建の現金及び現金同等物の換算差額は、前年同期の688百万円のマイナスから3,253百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ7,778百万円減少し、44,215百万円となりました。

(3) 連結業績予想

平成28年8月5日に発表した平成29年3月期通期の連結業績予想の変更はありません。

(金額単位 百万円)

科 目	平成29年3月期 予 想	平成28年3月期 実績 (ご参考)	増減率
売 上 高	400,000	449,630	△11.0%
営 業 利 益	8,000	7,304	9.5%
経 常 利 益	7,000	7,250	△3.4%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,000	731	36.8%

以上の業績予想において、第3四半期以降の為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=115円と想定しており、変更ありません。

**見通しに関する注意事項**

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合弁、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,993	45,275
受取手形及び売掛金	74,596	63,424
商品及び製品	21,882	23,909
仕掛品	12,306	13,179
原材料及び貯蔵品	18,649	16,563
繰延税金資産	4,027	3,813
その他	17,555	14,690
貸倒引当金	△3,308	△2,938
流動資産合計	197,700	177,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,138	47,878
機械、運搬具及び工具器具備品	130,663	123,291
リース資産	6,975	3,207
その他	11,446	11,350
減価償却累計額	△158,528	△146,240
有形固定資産合計	42,694	39,486
無形固定資産		
のれん	480	458
ソフトウェア	23,134	19,580
ソフトウェア仮勘定	22,489	31,679
その他	857	766
無形固定資産合計	46,960	52,483
投資その他の資産		
投資有価証券	6,081	5,608
繰延税金資産	1,159	1,030
退職給付に係る資産	915	677
その他	2,486	2,228
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,641	9,543
固定資産合計	100,295	101,512
繰延資産	17	—
資産合計	298,012	279,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,821	64,719
短期借入金	12,257	11,734
1年内返済予定の長期借入金	—	10,000
未払法人税等	2,031	1,842
未払費用	30,907	29,203
製品保証引当金	2,112	1,854
その他	22,015	19,621
流動負債合計	139,143	138,973
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,071	15,064
長期借入金	10,000	3,333
退職給付に係る負債	39,108	37,718
その他	4,204	3,130
固定負債合計	68,383	59,245
負債合計	207,526	198,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,732	91,732
資本剰余金	56,016	56,016
利益剰余金	34,038	35,004
自己株式	△11,051	△11,051
株主資本合計	170,735	171,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△286	△539
繰延ヘッジ損益	△88	△319
為替換算調整勘定	△56,329	△67,193
退職給付に係る調整累計額	△28,357	△26,498
その他の包括利益累計額合計	△85,060	△94,549
非支配株主持分	4,811	4,057
純資産合計	90,486	81,209
負債純資産合計	298,012	279,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	222,595	190,397
売上原価	184,861	156,534
売上総利益	37,734	33,863
販売費及び一般管理費	35,656	32,347
営業利益	2,078	1,516
営業外収益		
受取利息	125	191
受取配当金	88	89
為替差益	369	1,790
その他	158	172
営業外収益合計	740	2,242
営業外費用		
支払利息	652	314
持分法による投資損失	46	67
その他	715	549
営業外費用合計	1,413	930
経常利益	1,405	2,828
特別利益		
固定資産売却益	189	291
投資有価証券売却益	359	—
事業譲渡益	310	—
特別利益合計	858	291
特別損失		
固定資産除売却損	167	218
減損損失	—	138
事業構造改善費用	603	227
訴訟和解金	—	506
その他	511	70
特別損失合計	1,281	1,159
税金等調整前四半期純利益	982	1,960
法人税、住民税及び事業税	2,724	1,450
法人税等調整額	265	△236
法人税等合計	2,989	1,214
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,007	746
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△220
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,994	966

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,007	746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△237	△253
繰延ヘッジ損益	42	△231
為替換算調整勘定	△2,564	△11,167
退職給付に係る調整額	790	1,859
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△231
その他の包括利益合計	△1,962	△10,023
四半期包括利益	△3,969	△9,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,794	△8,523
非支配株主に係る四半期包括利益	△175	△754

第2四半期連結会計期間  
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	113,575	95,068
売上原価	94,316	78,049
売上総利益	19,259	17,019
販売費及び一般管理費	17,250	15,879
営業利益	2,009	1,140
営業外収益		
受取利息	53	68
受取配当金	49	53
為替差益	356	45
その他	81	22
営業外収益合計	539	188
営業外費用		
支払利息	245	150
持分法による投資損失	52	10
その他	254	363
営業外費用合計	551	523
経常利益	1,997	805
特別利益		
固定資産売却益	167	185
投資有価証券売却益	359	—
事業譲渡益	310	—
特別利益合計	836	185
特別損失		
固定資産除売却損	131	153
減損損失	—	138
事業構造改善費用	515	67
訴訟和解金	—	506
その他	149	61
特別損失合計	795	925
税金等調整前四半期純利益	2,038	65
法人税、住民税及び事業税	1,568	742
法人税等調整額	△73	△149
法人税等合計	1,495	593
四半期純利益又は四半期純損失(△)	543	△528
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	23	△223
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	520	△305

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	543	△528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	53
繰延ヘッジ損益	5	288
為替換算調整勘定	△3,969	△1,796
退職給付に係る調整額	474	636
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△124
その他の包括利益合計	△3,738	△943
四半期包括利益	△3,195	△1,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,941	△1,163
非支配株主に係る四半期包括利益	△254	△308

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	982	1,960
減価償却費	13,663	12,643
減損損失	—	138
事業譲渡損益(△は益)	△226	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,155	△580
受取利息及び受取配当金	△213	△280
支払利息	652	314
固定資産除売却損益(△は益)	△22	△73
投資有価証券売却損益(△は益)	△359	—
売上債権の増減額(△は増加)	△663	6,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,914	△4,203
仕入債務の増減額(△は減少)	179	84
未払費用の増減額(△は減少)	△9,901	△380
その他	△2,069	△3,026
小計	△1,046	12,922
利息及び配当金の受取額	213	280
利息の支払額	△638	△333
法人税等の支払額	△1,915	△1,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,386	11,029
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	489	△1,192
固定資産の取得による支出	△9,867	△17,785
固定資産の売却による収入	2,422	312
投資有価証券の売却による収入	503	—
事業譲渡による支出	△1,823	—
その他	139	△179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,137	△18,844
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,423	555
長期借入れによる収入	—	3,333
長期借入金の返済による支出	△3,129	—
リース債務の返済による支出	△1,083	△598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,635	3,290
現金及び現金同等物に係る換算差額	△688	△3,253
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,846	△7,778
現金及び現金同等物の期首残高	51,676	51,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,830	44,215

### 3. 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(1) 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. セグメント別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
	国内	63,297	28.4%	62,837	33.0%	△0.7%
	海外	115,283	51.3	91,692	48.2	△20.5
カーエレクトロニクス		178,580	80.2	154,529	81.2	△13.5
	国内	23,255	10.5	18,199	9.6	△21.7
	海外	20,760	9.3	17,669	9.2	△14.9
その他		44,015	19.8	35,868	18.8	△18.5
	国内	86,552	38.9	81,036	42.6	△6.4
	海外	136,043	61.1	109,361	57.4	△19.6
連結売上高計		222,595	100.0	190,397	100.0	△14.5

(単位：百万円)

		前第2四半期連結会計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)		当第2半期連結会計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
	国内	32,218	28.4%	33,040	34.8%	2.6%
	海外	57,635	50.7	45,298	47.6	△21.4
カーエレクトロニクス		89,853	79.1	78,338	82.4	△12.8
	国内	12,377	10.9	8,787	9.2	△29.0
	海外	11,345	10.0	7,943	8.4	△30.0
その他		23,722	20.9	16,730	17.6	△29.5
	国内	44,595	39.3	41,827	44.0	△6.2
	海外	68,980	60.7	53,241	56.0	△22.8
連結売上高計		113,575	100.0	95,068	100.0	△16.3

2. セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクト ロニクス	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	178,580	44,015	222,595	—	222,595
セグメント間の内部 売上高または振替高	268	1,812	2,080	△2,080	—
計	178,848	45,827	224,675	△2,080	222,595
セグメント利益(△損失)	3,635	△668	2,967	△889	2,078

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△889百万円には、セグメント間取引消去△56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△833百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクト ロニクス	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	154,529	35,868	190,397	—	190,397
セグメント間の内部 売上高または振替高	201	1,599	1,800	△1,800	—
計	154,730	37,467	192,197	△1,800	190,397
セグメント利益(△損失)	2,683	△1,059	1,624	△108	1,516

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△108百万円には、セグメント間取引消去114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△222百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

前第2四半期連結会計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクト ロニクス	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	89,853	23,722	113,575	—	113,575
セグメント間の内部 売上高または振替高	262	952	1,214	△1,214	—
計	90,115	24,674	114,789	△1,214	113,575
セグメント利益	2,092	661	2,753	△744	2,009

(注) 1. セグメント利益の調整額△744百万円には、セグメント間取引消去△62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△682百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結会計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクト ロニクス	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	78,338	16,730	95,068	—	95,068
セグメント間の内部 売上高または振替高	96	797	893	△893	—
計	78,434	17,527	95,961	△893	95,068
セグメント利益(△損失)	1,731	△578	1,151	△13	1,140

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額△13百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△69百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分を見直し、地図ソフトの報告セグメントを従来の「その他」から「カーエレクトロニクス」に変更しています。なお、前第2四半期連結累計期間および前第2四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づいて作成しています。